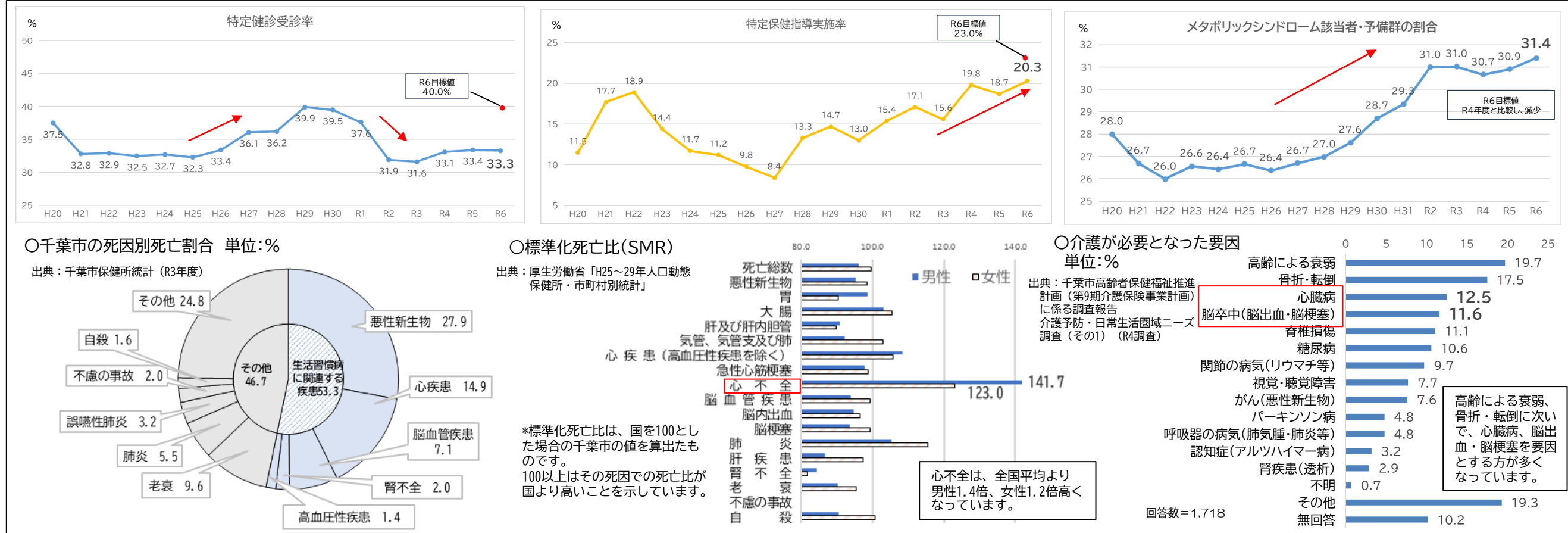


① 現状の整理と課題



② 計画策定時の健康課題及び評価指標

計画策定時の健康課題		目指す姿		保健事業	評価指標
課題1	健診を受診しておらず、自分の健康状態を把握していない被保険者が多くいる。	目指す姿Ⅰ	自身の健康状態を把握し、健康意識を高めることができる	1 特定健診受診率向上対策	特定健診受診率
				①受診勧奨 対象者の特定に合わせ、未受診者へ勧奨を行う(文書・電話・SMSなど)	
				②広報活動 ポスターやリーフレットによる啓発を行う	
				③健診データの収集 他健診、JA健診を利用した健診データを取得する	
課題2	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合が増加しており、生活習慣の改善を促す必要がある。	目指す姿Ⅱ	特定保健指導を利用することで、生活習慣病の発症リスクが高い健康状態を改善することができる。	④受けやすい環境や仕組みづくりの検討	特定保健指導実施率
				2 特定保健指導実施率向上対策	
				①特定保健指導の利用勧奨 電話や手紙による利用勧奨を行う	
課題3	死亡や介護が必要となる要因として、心疾患・脳血管疾患の割合が高いため、適切な医療につなげることと生活習慣の改善を促す必要がある。	目指す姿Ⅲ	定期的な通院と生活習慣の改善に取り組む事で、糖尿病・高血圧症・脂質異常症・腎機能を適切に管理し、心疾患・脳血管疾患・糖尿病の合併症(糖尿病性腎症)の発症を予防することができる。	②利用環境の整備(民間事業者の活用) 情報通信技術(ICT)を活用した特定保健指導の推進をする	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合
				③特定保健指導の研修会の開催 特定保健指導の従事者を対象とした研修会を実施する	
				3 糖尿病性腎症重症化予防対策 ①要治療者への受療勧奨 ②保健指導 ③治療中断者への受療勧奨	
				4 CKD(慢性腎臓病)対策 ①要治療者への受療勧奨	受療勧奨対象者のうち、医療機関受診割合
				5 心疾患・脳血管疾患対策 ①要治療者への受療勧奨	



千葉市国保特定健診キャラクター「こくほー」

③ 保健事業の評価 【評価指標達成状況】 ○：目標達成 △：目標未達だが、前年度と比べ同等又改善 ×：目標未達

項目	指標		第2期		第3期			達成状況	R11	中間評価	今後の方向と改善策
			R4 計画 策定時	R5	R6	R7 *R8.7 時点					
1	特定健診受診率(%)	目標	—	—	38.5	40.0	△	46.0	【実施状況】 ・特定健康診査は、協力医療機関での個別実施。受診勧奨通知業務は民間事業者へ委託し、電話勧奨は千葉県国民健康保険団体連合会支援事業を活用。 ・はがき・SMSによる勧奨者は、年代・性別・受診履歴・健診結果値・問診状況・通院状況等から人工知能(AI)を活用して選定。勧奨通知は、40～50歳代向けや、対象者の特性を分析した7種類の内容で実施したところ、勧奨後に問い合わせや受診券再発行依頼が増加した。 ・10月の勧奨はがきでは、他の健診で受診した結果の情報提供事業の申請に誘導できるよう、切り取って郵送申請に使用できるはがきとしたことで申請に繋がった。(R6年10.11月申請数:78件 R7年10.11月申請数:107件) ・リーフレット・ポスターについては、R6から眼底協力医療機関、保育施設、R7から郵便局、イトーヨーカドーに依頼し周知の協力施設が増加した。デジタルサイネージについては公共施設に加え、R8から健診協力医療機関に依頼開始、7月現在9か所の協力あり。	1. ポスター・リーフレット・受診勧奨通知等に、新たに作成したキャラクターを活用し、特定健診に関する内容であることが視覚的に分かるようにする。また、周知啓発として、掲示場所の工夫や、協力施設を増やしていく。 2. 千葉県特定健康診査等精度管理委員会(以下医師会)及び医療機関と連携し、通院者への受診を促す取組を検討していく。 3. 未受診者の状況を確認し、従来の方法以外の効果的な勧奨方法を検討していく。 4. 特定健康診査受診率の目標値は高めの設定となっており、実態に即した目指す数値に変更する。	
		実績	33.1	33.4	33.3	*33.3		—	【課題】 1. 40代、50代の受診率が低く、連続未受診者(過去5年未受診者)が健診対象者の5割以上いる。 2. R6年度未受診者のうち58.9%が生活習慣病で医療機関を受診しており、通院者が健診の受診に結びつきにくい状況がある。 3. 連続未受診者のうち、生活習慣病に関する医療機関の受診を確認できない者が半数を占めている。 4. 受診率はR4以降横ばいで、政令市の1位を目標に年々1.5%上昇するよう目標値設定しているため、達成することが難しい状況である。		
2	特定保健指導実施率(%)	目標	—	—	23.0	24.5	△	30.5	【実施状況】 ・健診実施医療機関に加え、民間事業者2か所に委託。勧奨業務についても一部事業者に委託している。 ・R5より可視化できるアプリと連動したウェアラブル端末(スマートウォッチ等)を利用した保健指導を開始。希望者に対応できるよう、予算をR5年度の60人分からR7年度120人分に増加して確保し、定員を増やした。 ・R7～初回面談利用者の状況に合わせた、訪問、オンライン面談のほか、公共施設での会場で実施など、利便性を拡大し実施率はやや増加している。	1. 民間事業者のノウハウを活用し、特定保健指導の利用に繋がるようにしていくとともに、健診実施医療機関への研修会を引き続き実施する。 2. 特定保健指導対象者のうち、医療機関管理となった者の現状を確認したうえで、医師会と共有し対応方法を検討する。	
		実績	19.8 *14.8 R4同時期	18.7 *14.3 R5同時期	20.3 *11.7 R6同時期	*13.2		—	・中断防止のための必要な対策を講じることを委託事業者の仕様書に記載し、メルマガの配信やスマートウォッチの装着を確認できない場合プッシュ通知するなどの対策を実施できているため、特定保健指導の脱落防止対策が取れていると評価できる。		
	メタボリックシンドローム 該当者及び予備群の割合 (%)	目標	—	—	R4と比較し、 減少		×	R4と比較 し、減少	【課題】 1. メタボリックシンドローム該当者及び予備群割合が年々増加しており、生活習慣病の発症のリスクが高い者が生活習慣の改善に繋がるよう、特定保健指導の実施率向上及び、保健指導の質の確保をしていく必要がある。 2. 特定保健指導の対象者のうち、医師の判断で医療機関管理となった者の8割が、その後の受診を確認できていない状況となっている。		
		実績	30.7	30.9	31.4	*31.7		—			
3	糖尿病性腎症	受療勧奨対象者のうち、 医療機関受診割合(%)	目標	—	—	R4(44.0%)と 比較し増加		△	R4(44.0%)と 比較し増加	1. 関係機関(医師会や医療機関)への協力依頼や連携を継続していく。 2. 通知文や、同封資料、電話対応について有効的な内容に工夫する。 3. 要治療者への受療勧奨の「受療勧奨者のうち、医療機関受診割合」の目標値は高めの設定となっており、その後の状況に即した目指す数値に変更する。  千葉県国保特定健診キャラクター「こくほー」	
			実績	44.0	36.4	35.9	*37.5		—		・受療勧奨者は、対象者抽出条件を元に抽出し、全員に勧奨することができた。
		保健指導実施者が新規に人工透析に移行した者の数(人)	目標	—	—	0人		×	0人		・医師会にて、未受診の理由が、「医師から説明がなかった」が1番多かったことを報告。医師会と相談の上、健診結果説明時に渡してもらう用紙を作成し、R7年度各医療機関に配布、また医師会を通して医療機関へ再度周知を実施。 その結果、健診受診後受療勧奨前の医療機関への受診率が、向上した(R6:60.4%、R7:61.1%)。
			実績	1	0	0	1		—		
		治療中断者の医療機関受診につながった者の割合(%)	目標	—	—	26.0	27.0	○	31.0		【課題】 1. 電話や訪問で確認できた未受診理由は、「医師から要医療の説明がなかった又は大丈夫と言われた」「結果が郵送で届いたため説明がなかった」が59.8%、と、要医療の認識のない者が6割を占めている。 2. 治療中断者全員に対して通知発送後に電話や訪問で受療勧奨を実施しているが、社会情勢上、これらの対応に抵抗がある方が増加していることが考えられ、直接勧奨を実施できた割合は減少している。 3. 策定時(R4)は、新型コロナウィルス感染症が落ち着き、医療機関への受診控えが収まった時期であったため、受療率が高くなった可能性があり、現状と乖離している。
			実績	25.1	25.0	30.9	27.7		—		
対象者(治療中断者)に直接(架電・訪問)受診勧奨を実施した者の割合(%)	目標	—	—	49.0	51.0	×	58.0	—			
	実績	47.6	42.3	41.1	37.5						
4	CKD	受療勧奨対象者のうち、 医療機関受診割合(%)	目標	—	—	R4(67.1%)と 比較し増加		△	R4(67.1%)と 比較し増加		
			実績	67.1	38.6	41.7	*48.1		—		
5	心・脳血管疾患	受療勧奨対象者のうち、 医療機関受診割合(%)	目標	—	—	R4(48.4%)と 比較し増加		△	R4(48.4%)と 比較し増加		
			実績	48.4	25.9	23.9	*24.3		—		

④ モニタリング指標一覧

NO	評価指標		単位	R5	R6	中間評価 (R7) *R8.6時点
1	健康寿命(平均自立期間・要介護2以上)		歳	健やか未来ちばプランデータ 見直しはR11年		
			歳	健やか未来ちばプランデータ 見直しはR11年		
			歳	男80.3 KDBより	男79.4 KDBより	男79.7 KDBより
			歳	女85.0 KDBより	女84.5 KDBより	女 84.6 KDBより
2	1人当たりの医科医療費(入院)(年度内の平均)		円	9,833	10,196	10,389
3	1人当たりの医科医療費(外来)(年度内の平均)		円	16,786	16,551	16,890
4	特定健診	特定健診受診率(40代)	%	17.5	17.2	17.0
5		特定健診受診率(50代)	%	21.2	21.7	21.2
6		特定健診受診率(60代)	%	36.8	37.0	36.9
7		特定健診受診率(70-74歳)	%	42.5	42.4	42.5
8		特定健康診査継続受診率(2年連続健診受診者)	%	73.3	73.8	75.4
9	特定健診 質問題	1回30分以上の運動習慣がない人の割合	%	55.6	54.9	54.8
10		1日1時間以上の運動なしの人の割合	%	45.3	44.5	44.2
11		週3回以上就寝前に夕食をとる人の割合	%	15.4	14.9	15.1
12		朝昼夕3食以外に間食や甘い飲み物をとる人の割合 (毎日・時々)	%	77.9	77.2	76.9
13		50歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	%	81.3	81.5	81.6
14		65歳以上のうち、BMI20以下の割合	%	20.5	19.9	20.2

NO	評価指標		単位	R5	R6	中間評価 (R7) *R8.6時点
15	健特定導保	特定保健指導の対象者の割合	%	10.9	10.3	10.9
16	生活習慣病の重症化予防	特定健診有所見者割合 BMI(25以上)	%	25.7	26.5	27.0
17		特定健診有所見者割合 血圧(収縮期130mmHg以上)	%	44.5	44.2	43.6
18		特定健診有所見者割合 血圧(拡張期85mmHg以上)	%	20	20.8	20.7
19		特定健診有所見者割合 脂質(HDL-C40mg/dl未満)	%	3.2	3.2	2.8
20		特定健診有所見者割合 脂質(中性脂肪150mg/dl以上) *R6から空腹時150mg/dl以上+随時175mg/dl以上	%	19.9	17.5	17.1
21		特定健診有所見者割合 血糖(HbA1c5.6%以上)	%	56.0	57.1	58.3
22		特定健診有所見者割合 血糖(HbA1c6.5%以上)	%	8.8	8.9	8.2
23		特定健診有所見者割合 血糖(HbA1c8.0%以上)	%	1.2	1.1	1.1
24		健診結果で要治療者のうち、未治療者割合(糖尿病性腎症)	%	19.0	18.1	9.5
25		健診結果で要治療者のうち、未治療者割合(CKD)	%	14.4	14.6	9.6
26		健診結果で要治療者のうち、未治療者割合(血圧・脂質・血糖)	%	24.0	30.2	20.2
27		糖尿病の有病割合(40～74歳)	%	13.2	13.2	12.9
28		高血圧の有病割合(40～74歳)	%	22.2	22.0	21.3
29		新規人工透析患者数(国保継続5年加入者)	人	103	85	74



⑤ 目標値の見直しが必要な事業

項目	評価指標		R4 計画策定時	R5	R6	R7実績 *R8.7月時点
1	特定健診受診率(%)	目標	—	—	38.5	40.0
		実績	33.1	33.4	33.3	*33.3
3	糖尿病性腎症 受療勧奨者のうち医療機関受診割合(%)	目標	—	—	R4(44.0)と比較して増加	
		実績	44.0	36.4	35.9	*37.5
	対象者(糖尿病治療中断者)に直接(架電・訪問)受診勧奨を実施した者の割合(%)	目標	—	—	49.0	51.0
4	CKD 受療勧奨者のうち医療機関受診割合(%)	実績	47.6	42.3	41.1	37.5
		目標	—	—	R4(67.1)と比較して増加	
5	心・脳血管疾患 受療勧奨者のうち医療機関受診割合(%)	目標	—	—	R4(48.4)と比較して増加	
		実績	48.4	25.9	23.9	*24.3



見直し後

		R8	R9	R10	R11
目標値	策定時	41.5	43.0	44.5	46.0
	変更後	R7実績より年1%ずつ増加			
	策定時	R4(44.0)と比較して増加			
	変更後	直近3か年で最も高い実績と比較して維持・増加			
	策定時	53.0	55.0	57.0	58.0
	変更後	R7(37.5)を維持する			
	策定時	R4(67.1)と比較して増加			
	変更後	直近3か年で最も高い実績と比較して維持・増加			
	策定時	R4(48.4)と比較して増加			
	変更後	直近3か年で最も高い実績と比較して維持・増加			

目標値見直しの考え方について

- 特定健診受診率
保険者努力支援制度(医療費適正化に向けた取組等に対する支援を行うため、保険者の取組状況に応じて交付金を交付する制度)の指標達成を目指す。
- 対象者(糖尿病治療中断者)に直接(架電・訪問)受診勧奨を実施した者の割合
架電・訪問で直接受診勧奨できた割合は年々減少している。社会情勢を踏まえ、R7実績値の維持を現実的かつ着実な目標設定とする。
- 受診勧奨者のうち医療機関受診割合
計画策定後の直近3年間のうち、項目ごとの最も高い実績値と比較して、維持・増加を目指す。